

このひと手間で燃えるごみを減らそう！

次の3点は我が家で実践していることです。そうすると週2回の可燃ごみに出すものが減って、ごみを出す回数がぐっと少なくなっています。

- ①分別にひと手間かけて
製品についている表示を見て汚れている物は洗って分別する。食品が入っているレトルト容器も洗うと可燃ごみに入れなくてよくなる。
ビニール、プラ類はできるだけ小さく切って袋に入れると、かさが減って持ち運びしやすい。
- ②食べ物にひと手間かけて
生ゴミを減らす工夫をする。例えば、残ったおかずは卵でとじたり、味を付け直すなど。
- ③生ごみにひと手間かけて
野菜くずの大きなもの(キャベツの葉やねぎの根など)は畑に草と一緒に捨てる。
魚の頭や内臓はホイルに包んで焼くと水分が減って臭いも消えるので、土に埋めて肥料に使う。
生ごみの水切りを徹底し、塩を少々振ったり、古い漬物器で5分ほど押して水気をとる。

環境課からのコメント

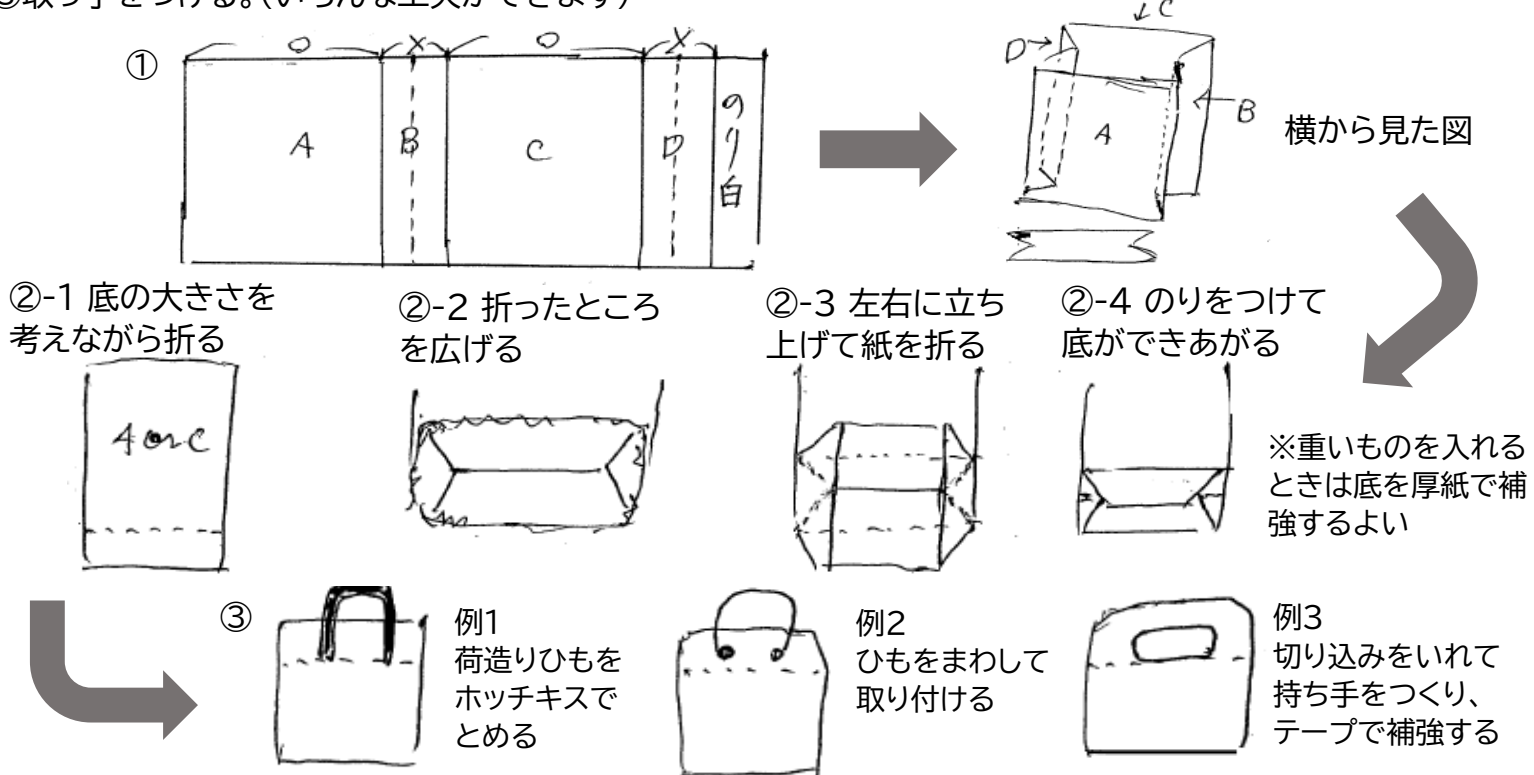
ちょっとした「ひと手間」にコツコツ取り組むことで、家庭で減量の成果を実感できるのですね。



優秀賞

配送品を包んでいる丈夫な紙をエコバッグにしてごみを減らそう！

- ①入れようとする物の寸法を測り、エコバッグの寸法を決めて紙を折り、のり付けをする。
- ②底をつくる。A面またはC面を上にして折ったところを広げて、のり付けをする。
- ③取っ手をつける。(いろんな工夫ができます)



環境課からのコメント

自分で使うのはもちろん、誰かにあげるプレゼントを入れるバッグとしても喜ばれそうです。



奨励賞

むだなくごみを減らそう！

ペットボトルじゃなくて水筒にする
いらないものは友達にあげる
段ボールを工作に使う
ビニール袋じゃなくてエコバッグを使う

環境課からのコメント

ひとりひとりが日々の習慣として「4R」を身につけていくことが、ごみ減量につながります。



最優秀賞

道徳の時間にバザー授業でごみを減らそう！

私は家でいらなくなった物は弟にあげているけど、弟がいない物は捨てています。だけど捨てる時に、これが欲しい人がいるかもしれないと考えるときがあります。クラスの子やその子の家の人が欲しいと思っているかもしれません。道徳の時間にクラス全員でいらなくなった物を持ってきて、何人も欲しがっている物があったら、ごみに出さなくて良かったという気持ちになると思います。

環境課からのコメント

ぜひ、クラスみんなで「リユース」について話し合ってみてください。



優秀賞

給食運動会でごみを減らそう！

学校では給食の残が多いという話を先生から聞いているので、どうしたらみんなが残さず食べてくれるか考えてみました。

- ①由布市の学校同士や、学校の中の1年生～6年生までのクラスごとに給食を残さないように競走する
- ②学校やクラスなどで1番給食を食べた人を放送等でお知らせして集会等で表彰する。
- ③無理に食べたり、食べれない人を責めたりせず楽しく仲良く食べる。

環境課からのコメント

「食品ロス」を意識しながら、みんなで楽しく仲良く食べることが大切ですよね。



奨励賞

小中学校の教材ごみを減らそう！

不要になった小中学校時代に子どもが使用していた習字道具や水彩道具などはまだまだ使用できるため、高齢者施設でのアクティビティ活動に使用できればと思います。

他にも頭の体操として、脳の活性化を図る目的で国語や算数の教科書を活用できます。

また、算数ボックスの教材や、縦笛、けん盤ハーモニカ、カスタネットなど高齢者のレクリエーションや作品づくりに小学校の教材は大いに活用できると思います。地域の高齢者デイサービス、いきいきサロン、老人会などで小学校の教科書や教材が活用できれば、ごみ減量につながると思います。

環境課からのコメント

世代間をつないで新しい喜びを生む「リユース」の取り組みのアイデア、素敵です。



奨励賞

由布のみんなでごみを減らそう！

由布エコ認証制度を作り、基準を満たした家や学校、職場(店含む)を認証する。

例えば、両面コピー率75パーセント以上、100パーセント分別、物品のリユース、簡易包装(脱プラ)などゴミを減らす事はもちろん、エネルギー等についても考慮した基準(エアコンの設定温度やガソリンの使用量など、二酸化炭素のゴミを出さない事も重要)を作り、3つ以上達成で銅賞、5つ以上で銀賞、7つ以上で金賞の認証をする。

各認証内容は認定書にQRコードをつけ検索できるようにする。金賞については市報やHPで広報する。申請は毎年自己申告。

環境課からのコメント

由布市全体での「省エネルギー」「脱炭素」の取り組みのアイデア、今後の市の施策の参考にします。

